

ほらほら幌北

第 61 号

令和7年9月
発行

幌北まちづくりセンターだより

想いを受け継ぎ、幌北をより住みやすいまちに

幌北連合町内会は、昭和31年に創立され、11の単位町内会とともに幌北地区の発展を支えてきました。今号では、幌北連合町内会の新体制発足や“幌北”の呼称の謎等を紹介します。



北区まちづくりキャラクター
「ほっぴい」

幌北連合町内会 新体制発足

5月10日に開催された幌北連合町内会の定期総会等を経て、令和7年度の新たな役員体制が承認されました。これに伴い、10年に渡り会長職を務められた小田島義雄氏が退任となり、幌北連合町内会の第9代会長として永野秀行氏が就任されました。



▲退任された
小田島義雄氏



▲令和7年度定期総会

幌北連合町内会 新体制

役職名	氏名
会長	永野 秀行
副会長(総務担当)	阿部 義秀
副会長(福祉担当)	小口 悦朗
副会長(会計担当)	清水 秀人
副会長(会館担当)	滝川 英明
副会長(女性部長)	植村 イミ子

会長就任挨拶

このたび、小田島前会長より引き継ぎ、幌北連合町内会会長を務めます幌北第9町内会会長の永野と申します。

歴代会長が築かれた地域の絆と信頼を受け継ぎ、安全・安心で住みよいまちづくりの実現に努めたいと思っております。後期高齢者の増加に伴い、役員のみならず手不足が全国的な町内会活動の課題となる中、防災・防犯、ゴミ処理問題、子育て支援や高齢者福祉など地域の課題は多様化しています。

各単位町内会や関係機関と連携して、「できる事をできる時に」を合言葉に、無理なく参加できる活動を進めて参ります。皆さま方の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



幌北連合町内会会長 永野 秀行



ほろきた？ こうほく？

『幌北』読み方のナゾ

Q) 「幌北」は、どう読むのが正しいの？



実は団体・施設等によって、読み方が違うんだ。地域関係は「ほろきた」、公的施設は「こうほく」と呼称している傾向があるね。

読み方	団体・施設など
ほろきた	幌北連合町内会、幌北地区、幌北会館、幌北児童会館、幌北まちづくりセンター
こうほく	幌北小学校、北消防署 幌北出張所

Q) なぜ2つの読み方があるの？昔から？ある時期から読み方が変わった？昔の公文書を調べればすぐわからないかな？



それが・・・そう簡単でもないんだ。「幌北」は、町名ではなく地域名なこともあり、フリガナが付いた公文書は、今のところ見つけられていないんだよね。市の各施設についても、設置当時の公文書には、読み方（フリガナ）は記載されていなかったんだよね...

Q) じゃあ、もう調べる方法はないのかな？



「真実」にまでたどり着くことは難しいかもしれないね...でも、幌北地区には、小さい頃からここで暮らしてきた人たちが多くいるんだ。その人たちから話を聞く中で、何かヒントを得られるかもしれないよ！

ミッション①

地域の人たちに昔の話を聞いてみよう



私が小学生の頃は、幌北小学校のことは「ほろきた小」と言っていたよ。息子の在学時に、息子が「父さん、これからはこうほく小って呼ぶんだって」と言ってきたのを覚えているよ。

小田島 義雄さん
幌北地区で生まれ、現在も在住。自身・子どものいずれも幌北小学校の卒業生で、地域の生き字引的な存在の1人

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
通った小学校	幌北小	幌北小の隣接校	幌北小	幌北小の隣接校
通学時期	昭和25年～	昭和26年～	昭和28年～	昭和35年～
当時の幌北小の呼び方	ほろきた小	ほろきた小	ほろきた小	ほろきた小



昔から幌北に住んでいる人たちに、当時どう呼んでいたか聞いてみたよ。昔の小学生が「ほろきた小」って呼んでたのは間違いなさそうだけど...。小学校の正式名称が途中で変わることなんてあるのかな？



昔の新聞記事や学校の発行物等から、得られる情報はないかな？札幌市の歴史や文化に係る様々な資料も保存している「札幌市公文書館」に行ってみよう！



幌北小の歴史を遡ると、昭和9年が始まりだったよ。
開校当時の新聞記事を調べてみよう！

【新聞記事（本文抜粋）】

●北海タイムス 昭和9年5月20日発行

だい じ けうい く ねんけい くわ く しんせつ ほくじんじやうせうがくこう

「第二次教育五ヶ年計画による新設幌北尋常小学校が～」

●北海タイムス 昭和9年7月11日発行

さつほろし ほくせうがくこうかいこうきねんしき か ごぜん じ

「札幌市幌北小学校開校記念式は十日午前十時から～」



▲札幌市公文書館

市内における「幌○」の学校名

開校年	学校名	読み方
大正15年	幌西小	こうさい
昭和9年	幌北小	????
昭和11年	幌南小	こうなん
昭和24年	幌東中	こうとう
昭和50年	幌東小	こうとう



昔の新聞にはフリガナがたくさん付いてたよ。
でも、昭和9年の新聞記事には「幌」の部分の
フリガナはなかった...。
こうほく？ ほろほく？

幌北小の「開校40周年記念誌」や
「校舎改築落成記念号」も見てみよう！

●開校40周年記念誌（昭和49年発行）

（寄稿文より）

「第一代校長阿部蕃先生はよく世間の人には此の学校の校名と私の名前を正しく呼んでくれないと申して～～」

（旧職員らの座談会での出席者の発言）

「市の方の正式の呼び方はコウホクです。でもみんなはホロキタと言っていましたね。今はなくなりましたが東北小学校があったでしょう。それとよく間違えられるんです。ホロキタと言うと間違えないんですよ。」

「学校の建つ前はホロキタという名称でしたからね。コウホクという名は委員会がつけたんでしょう。ホロキタの地区にコウホク小学校が建ったということでしょうね」

●校舎改築落成記念号（昭和54年発行）寄稿文より

「何とまあ、ひでえ校舎だな、これではコウホク小学校ではなく、ポロキタ小学校～～」
「この学校の名称は、コウホクなの、それとも～～」 「先生！みんなはポロキタと言ってるんだよ」

～ 調査結果 ～

- ◆ 最初から地域は「ほろきた」、学校等は「こうほく」が正式な読み方だったようだよ！
- ◆ けど、昔は、地域の人たちは「ほろきた」で呼び方を統一していたんじゃないかな！？
- ◆ 幌北小は、昭和44年に東北小が廃止されたり、その後、校舎が新しくなる（≒ポロキタと呼ぶ人がいなくなる）中で、「こうほく」という正式名称で言おうという機運が高まったのかもしれないね。



永野拓也氏が旭日単光章を授章されました

5月30日、北区役所で「令和7年春の叙勲 勲章伝達式」が行われ、幌北連合町内会顧問の永野拓也氏が表彰され、旭日単光章の勲記と勲章授与が行われました。

永野氏は幌北第九町内会会長として24年間、防犯防火運動や交通安全運動、地域の美化活動及び親睦事業などを実施されたほか、幌北連合町内会の第7代会長としてまちづくりに取り組み、地域の発展にご尽力されました。



永野さんが幌北連合町内会の会長になった頃に、北大生を中心としたボランティアサークル「NeoLos幌北」の活動も始まったんだ。

幌北では、永野さんをはじめ町内会も協力する中で、学生と地域住民が一緒になった魅力的な活動が数多く行なわれてきたんだよ。



〈編集・発行〉

幌北まちづくりセンター

〒001-0017 札幌市北区北17条西5丁目1-7
TEL:011-726-6345 FAX:011-726-2765



さっぽろ市
02-Q01-25-1338
R7-2-959

SAPPORO